

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	070 -	事業名	福祉の家事業			担当部課	福祉部長寿課	
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち	会計区分	一般会計				
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～		予算区分(款 - 項 - 目)				
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	3-1-8 福祉の家施設費					
	法定受託事務の有無	-						
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 福祉の家条例						
事業開始の背景、経緯等	福祉の家は開館して15年が経過し、施設を取り巻く状況は急激に変化しており、この変化に対応し、より効果的・効率的に施設の設置目的を達成するため、運営・管理方法の見直しを行う必要が生じている。							
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 公民連携を活用した施設の改修、運営方法を含めた施設の利活用の更なる推進を図る。						
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 福祉の家 福祉エリア						
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 介護予防、健康増進の拠点施設として、幅広い利用者の交流の場として利用される施設とする。						
	事業を構成する事務事業(B票)	① 福祉の家管理事業	改善・見直し	④				
	② 福祉の家整備事業	拡充	⑤					
	③		⑥					
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	事業費(A)	千円	予算	294,849	321,808	278,254	239,680	223,531
			決算	259,785	307,801	254,370	228,310	
	人件費(B)	千円	決算	5,333	5,340	2,756	12,008	
総コスト(A)+(B)	千円	決算	265,118	313,141	257,126	240,318		
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	A 福祉浴室、歩行浴室利用者数	人	目標	14,500	14,700	14,900	15,100	15,800
			実績	14,721	16,407	16,497	15,733	
	B 貸室利用者数	人	目標	27,000	28,000	29,000	30,000	30,000
			実績	27,248	27,770	37,870	28,785	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 前年度実績を元に目標を設定								
B 前年度実績を元に目標を設定								
C								
環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 ・公民連携による整備事例(福岡県福岡市東区、岡山県岡山市) ・行政100%出資による運営事例(愛知県東郷町)							
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 大規模修繕工事に向けた調査業務を実施した。						
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 開館して16年が経過し、維持修繕だけでは限界が来ている。施設を取り巻く環境の変化に対応し、より効果的・効率的な運営方法等の見直しが必要である。						
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 福祉エリアも含めた指定管理区域の再編等の再整備事業だけでなく、老朽化や更新時期を迎える機械設備の修繕、改修についても同時に実施していくことが必要である。						
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 福祉の家の再整備及び大規模修繕工事の実施に向けた、実施計画を今年度中に作成し、実施設計についても今年度中の着手を目標とする。						
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 開館から20年程度で施設全体の再整備及び大規模修繕工事を完了させる。						

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	
------	-------------------------	--

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	福祉の家事業		担当部課	福祉部長寿課	決算書ページ	—
事務事業名	①	福祉の家管理事業	予算区分	3-1-8 福祉の家施設費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	—		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民の福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図るとともに、市内外の広域的な交流を促進するため、福祉の家を運営する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 介護予防、健康増進の拠点施設と位置づけ、幅広い利用者の交流の場として利用される施設とする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算	294,849 259,785	229,793 215,286	256,078 235,246	227,980 219,112	214,772
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		光熱水費					95,096 千円
(2)		施設管理業務委託					72,521 千円
(3)		福祉の家維持修繕工事					16,309 千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
福祉浴室、歩行 浴室利用者数	人	見込	14,500	14,700	14,900	15,100	15,800
		実績	14,721	16,407	16,497	15,733	
貸室利用者数	人	見込	27,000	28,000	29,000	30,000	30,000
		実績	27,248	27,770	30,870	28,785	
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
施設を維持するために適切な管理及び修繕を行った。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

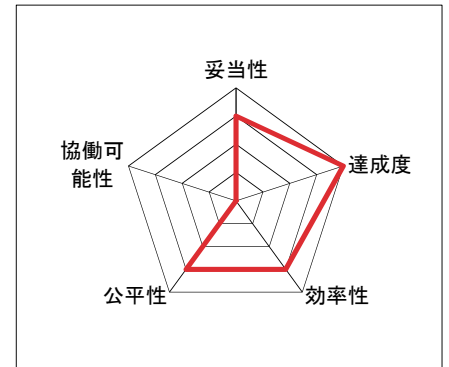
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 様々なニーズに対応するため、貸室は、時間貸しから時間貸しに変更した。
--

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
227,980 千円 214,772 千円 △ 13,208 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 ※新規行政評価対象
・前年度【コメント】
新規のためなし
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
貸室の利用方法を、時間貸しから時間貸しに変更した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	4
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	—	—	—	—
実績	—	—	—	—
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
施設の管理事業であるため。				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
福祉の家は開館して16年が経過し、施設を取り巻く状況は急激に変化しており、この変化に対応し、より効果的・効率的に施設の設置目的を達成するため、運営・管理方法の見直しを行う必要が生じている。

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
温泉エリアだけでなく、福祉エリアも含めた指定管理区域の検討を進める。また、老朽化や更新時期を迎える機械設備の大規模修繕が喫緊の課題となっている。

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	福祉の家事業		担当部課	福祉部長寿課	決算書ページ	—
事務事業名	②	福祉の家整備事業	予算区分	3-1-8 福祉の家施設費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成28年度	終了(予定)年度	—		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民の福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図るとともに、市内外の広域的な交流を促進するため、福祉の家を運営する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 開館して16年が経過したことから、施設を取り巻く状況は急激に変化している。より効果的・効率的に施設の設置目的を達成するため、運営・管理方法の見直す再整備を行う。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	—	92,015	22,176	11,700	8,759
		決算	—	92,515	19,124	9,198	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1) 福祉の家大規模修繕工事調査業務委託						9,198 千円	
(2)						千円	
(3)						千円	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
調査業務	件	見込	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	1	1
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
施設全般の修繕について専門家の視点から現況調査を行って総合的に改修内容を洗い出し、修繕計画の立案及び修繕に掛かる概算費用を算出した。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

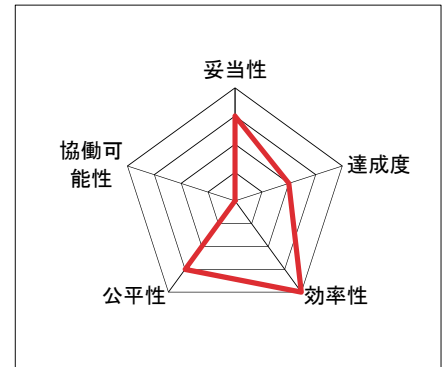
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣では、温浴施設のオープンやリニューアルがあり、温泉施設の利用者数に影響がある。瀬戸大府東海線の延伸が決まっており、それに合わせた再整備を進める。
--

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
11,700 千円 8,759 千円 Δ 2,941 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 ※新規行政評価対象
・前年度【コメント】
新規のためなし
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
施設全般の修繕について専門家の視点から現況調査を行って総合的に修繕内容を洗い出し、修繕計画の立案及び修繕に掛かる概算費用を算出した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	4
公平性	3
協働可能性	—



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	—	—	—	—
実績	—	—	—	—
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
施設の整備事業であるため。				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
16年が経過したことで、福祉の家の利用形態にも変化が生じている。当初のコンセプトから利用方法が変わってきている部分は、将来を見据えた利用形態に見直していく必要がある。

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
福祉の家は、開館してから16年が経過した。温泉設備及び空調設備については、突発的な故障に対応することができない状況が危惧されており、大規模修繕が喫緊の課題となっている。

## 7. 今後の方向性

拡充